



特集

学生の可能性を磨く
「佐賀大学コンテンツデザインコンテスト」

活躍する佐大OB

無限大∞の可能性に向かって
佐賀県立唐津西高校教諭 松本 究さん



研究紹介

イキイキ佐大生

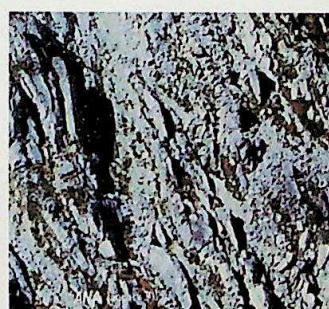
トピックス

チャリさがさいせい ecoconグランプリ受賞
第44回日展 修了生が特選、在学生3名が入選
佐賀大学美術館 着工！



サークル紹介

お知らせ



学生の可能性を磨く 佐賀大学コンテスト デザインコンテスト

昨今、高度情報化社会において、理系・文系の区別なく、社会を切り開く新しい感性が求められています。日常的にあるいは非日常的に感じていることに対して、問題提起やこれから可能なことを示す斬新で若々しいコンテンツデザイン作品を募ることは、将来を担う学生らの発展的可能への挑戦を促します。

佐賀大学は、CGや映像作品、ウェブやインラクティブ作品など手法を問わず若者のコンテンツ作品を幅広く募集し、平成24年12月15日に「第1回佐賀大学コンテンツデザインコンテスト」を開催しました。

これは同月に佐賀大学で行われた国際コンテンツ会議（ICCC2012※）のジョイント企画として実施されたものです。

募集は「高校生部門」「若手部門（30歳未満）」に分けて行いました。

■エントリー作品数

作品の種類	高校生部門 (日本)	若手部門 (日本)	若手部門 (韓国)	計
動画	6	19	2	27
静止画	3	3	18	24
インラクティブ	2	2	0	4
その他	5	3	0	8
計	16	27	20	63

※韓国からの応募は、第1次審査済みのエントリー作品数です。



プレゼンテーションの様子



表彰式の後で

はやし下茂
穂下茂
しげる
茂
全学教育機構
人文科学・芸術部門教授

エントリーされた作品の種類は様々で、動画はマイキングムービー、ショートムービー、セルアニメ、3DCG、クレイアニメなどがありました。その中でもインタラクティブ作品であるキネクト（Kinect）やその他作品のプロジェクト（Kinect）やその他作品のプロジェクト（Kinect）やその他作品のプロジェクト（Kinect）などは、昨今のニュースでも話題になっている新しい分野です。

審査員は、韓国と日本から2名ずつ出ていただき、厳密に審査していただきました。応募作品は、それぞれの部門で入選（第1次審査済み）したものの中から、最終審査を行いました。

審査の結果、高校生部門、若手部門（日本）、若手部門（韓国）の3部門において、それぞれ最優秀賞1件、優秀賞2件を表彰しました。英文表記の楯と表彰状が授与されました。

コンテストの実施担当は佐賀大学プロジェクト研究所のひとつである「佐賀大学地域環境コンテンツデザイン研究所」が担当しました。今後も、佐賀大学コンテンツ・デザインコンテストは継続して開催することにしており、第2回佐賀大学コンテンツ・デザインコンテストは平成25年11月頃を予定しています。日本中の大学・高等学校等にも周知しながら、全国的、世界的規模のコンテストに育てたいと思ってます。ご期待ください。



優秀賞

homageプロジェクト
(その他)
代表／築山 央
(佐賀県立有田工業高等学校)



最優秀賞

脳性麻痺で不自由な方のためのマウス
(インタラクティブ)
代表／西村 勇哉
(佐賀県立佐賀工業高等学校)



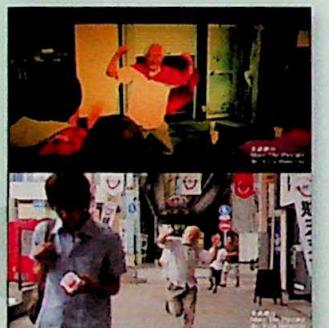
高校生部門

クレидル
(インタラクティブ)
代表／平田 彩
(佐賀県立鳥栖商業高等学校)



最優秀賞

dissolve
(映像)
藤原 織香
(佐賀大学)



優秀賞

Escape journey (映像)
下津 優太(佐賀大学)



若手部門(日本)

PROJECTION MAPPING
「THE GLITCH MAGES」(その他)
江口 昌紀 (Web Director)

最優秀賞

Father's Frame (映像)
Eun bi Jang, Ji na Lee
(Hanbat University)



若手部門(韓国)

Abortion (静止画)
Bong Hun Kang,
Hong Myun Kim
(Konyang University)

優秀賞

Poppy (静止画)
Hye Rim Yun
(YEWON Art University)

作品の詳細はコチラ

<http://net.pd.saga-u.ac.jp/supla-con/condecon/>

無限大8の可能性に向かって

生糸の佐賀つ子先生の飽くなき挑戦

今回は、佐賀大学教育学部を最後の年に卒業し、現在は高校の教員として勤め、また本学の大学院教育学研究科の学生としても学んでいる松本研究さんにお話を伺いました。平成24年10月に九州では2人目になるバスケットボールの国際審判のライセンスを取得し、佐賀から世界の舞台に立つという夢に一歩一歩近づいている松本さん。これからますますの活躍が期待されます。

【現在はどのような活動をされていますか】

現在、唐津市にある唐津西高等学校において保健体育の教員として勤務しています。また、佐賀県教育委員会の現職教員派遣制度で、大学院教育学研究科に在籍しています。教員と学生と二足の草鞋を履いているということです。唐津西高等学校では保健体育の教員としてだけでなく、バスケット



審判の様子

しても活動しており、国内では日本バスケットボール協会公認AA級審判として活動しながら、国際バスケットボール連盟(以下FIBA)の審判としてのライセンスを持っています。FIBAのライセンスは平成24年9月に受験し、京都大学の山中伸弥教授がIPS細胞でノーベル医学生理学賞受賞の発表があった10月8日、同日にライセンス取得の知らせが届きました。国際審判として海外で活動したのは今のところまだありませんが、来年度、海外で活動できる知らせが来ることを待っています。

【大学で学んだことを教えてください】

私が佐賀大学に入学したのは平成8年でした。私たちが教育学部最後で、周囲には教員を目指している仲間が多くいました。お互いに刺激し合いながら、学生生活を送っていたことを記憶しています。教育学部中学校教員養成課程平成11年度卒業教育学研究科1年



顧問を務めるバスケットボール部の生徒とともに



佐賀県立唐津西高校教諭

まつ
松
もと
究
さん

教育学部中学校教員養成課程
平成11年度卒業
教育学研究科1年



大学生時代(保健体育科)のダンス発表会

養成課程保健体育科専攻は私を含めて9名、小学校教員養成課程体育科選修は2名と保健体育科は11名と少なくたので、仲間同士の結びつきがとても強かつたと思います。保健体育について学べたこともあったのですが、10名の仲間とともに、そして先輩や後輩たちと関係を築き、多くのことを学べたことは本当によかったです。3月に保健体育科の同級生が結婚式を挙げるので、仲間と会えることを楽しみにしています。

【佐賀大学の思い出は? また、思い出に残る先生はいますか】

保健体育科の同級生と過ごした日々もいい思い出ですが、部活動に没

頭した4年間もいい思い出です。バスケットボール部に所属し、先輩、後輩とともにいろんな大会に出場しました。中でも、九州学生リーグや福岡学生リーグにむけて一丸となつて練習等に取り組んだこと、試合後の○○などが思い出となっています。○○についてはなかなかここでは書けないので、皆さんのご想像にお任せしたいと思います。思い出に残る先生は、栗原淳先生です。栗原先生からは保健体育についていろいろと教えていただき、バスケットボール部の指導もしていただきました。先生からの一言で高校の保健体育の教員を目指そうと思いました。九州学生リーグで私が怪我をした際、素早く手当てをしていただき、その後のゲームに出席できること、さらに、先生からいろんな言葉をかけられ、励まされたことは本当に今でも忘れません。また、当時、バスケットボールを指導していた野口七郎先生も思い出に残る先生です。

【これから夢や目標を教えてください】

バスケットボールの審判については、オリンピックや世界選手権の決勝の舞台に立つことが今の一番の夢です。いつ叶うか分かりませんが、その夢の実現に向けて日々、努力を重ねています。教員としての夢は、夢を持った生徒を育していくことです。そのためには、自分自身が夢を持

ていて、いろいろと教えていただき、バスケットボール部の指導もしていただきました。先生からの一言で高校の保健体育の教員を目指そうと思いました。九州学生リーグで私が怪我をした際、素早く手当てをしていただき、その後のゲームに出席できること、さらに、先生からいろんな言葉をかけられ、励まされたことは本当に今でも忘れません。また、当時、バスケットボールを指導していた野口七郎先生も思い出に残る先生です。

【在学生や大学を目指す若者たちにメッセージをお願いします】

私はよく生徒に「自分自身の可能性に蓋をするな。あなたたちの可能性は∞(無限大)」ということを伝えています。私は佐賀から出たことがなく、小学校から高校、大学、大学院と全て佐賀で生活しました。そういう佐賀.OneToOneで育った私でも、世界の舞台に立つことができる国際審判のライセンスを得ることができました。心のどこか

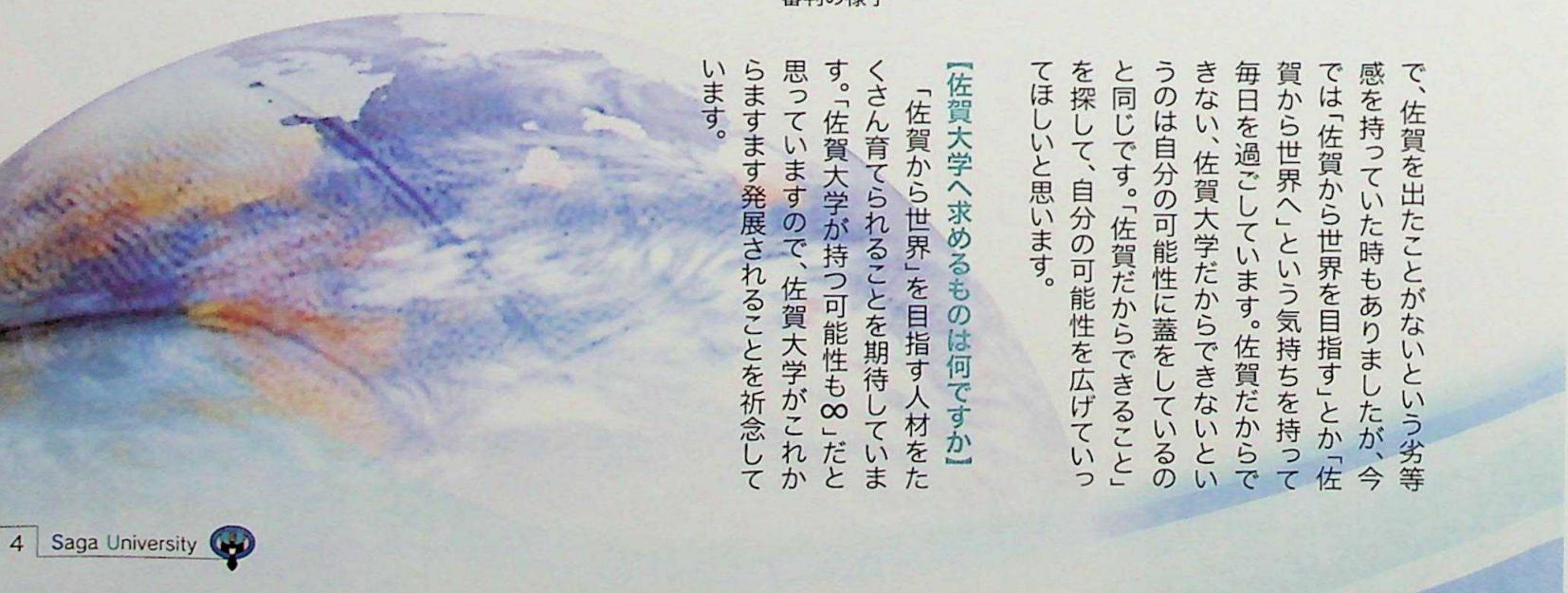


審判の様子

【佐賀大学へ求めるものは何ですか】

「佐賀から世界」を目指す人材をたくさん育てられることを期待しています。「佐賀大学が持つ可能性も∞」だと思っていますので、佐賀大学がこれからますます発展されることを祈念しています。

ち、夢の実現に向けて努力を重ねていこうとする姿を見せてることで、生徒にいい影響を与えるのではないかと考えています。



で、佐賀を出たことがないという劣等感を持っていた時もありましたが、今では「佐賀から世界を目指す」とか「佐賀から世界へ」という気持ちを持つ毎日を過ごしています。佐賀だからでない、佐賀大学だからできないというのは自分の可能性に蓋をしているのと同じです。「佐賀だからできること」を探して、自分の可能性を広げていってほしいと思います。

発酵・醸造学ルネッサンス

～最先端研究で醸造業界の現場を革新する～

発酵・醸造学というと、古典的な学問と思う人が多く、最先端、技術革新というイメージを持つ人は少ないかも知れません。確かに発酵・醸造学は古くから研究されてきた学問です。実際に現在、発酵・醸造学の研究者、特に伝統発酵食品の研究者は非常に少なくなっています。しかし、日本の発酵・醸造業は日本の基幹産業であ

り、発酵技術は世界的に見ても日本の独自技術です。

私は発酵技術に興味があり、大学院を卒業した後、5年間国税局鑑定官として醸造蔵の屋根裏部屋で杜氏さんと一緒に寝泊まりして約1000蔵の清酒醸造指導を行いました。その後独立行政法人酒類総合研究所で杜氏として工場スケールの清酒を製造し、発酵・醸造業の製造現場で足りない技術・研究を把握しました。

そこで、米国サウスカロライナ医科大学に留学して得たミトコンドリア学や脂質化学の視点を取り入れて発酵技術におけるイノベーションに挑むことにしました。

日本酒の発酵試験の様子



研究室での実験の様子

まず、ミトコンドリアに着目すると、発酵学にはこれまでになかった発想で、酒類業界で長年の懸念となってきたペルビン酸を残存する清酒酵母の育種に成功しました。この清酒酵母は実際の清酒醸造業における低アルコール清酒の製造で使われ、その商品は既に市販されるに至っています。

の文部科学大臣表彰(若手科学者賞)や日本農学進歩賞、日本醸造協会技

術賞などを受賞し、米国化学会誌やAnnual Review誌に掲載されました。研究室の学生たちも日本を代表する発酵・醸造会社に多く送り出しができました。古典が再び最先端となるルネッサンスの瞬間に、一緒に基幹産業の発展に貢献したい学生さんをお待ちしております。



醸造蔵の前でゼミ生とともに

**北垣 ひろ浩
し**
農学部生物環境科学科
准教授

情報通信技術を利活用した 新たなコミュニケーションを探る!

最近、当研究室では、毎日のように様々なメディアに取り上げられているソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)であるFacebookやTwitterなどに関しての調査分析研究を多く行なっております。私自身の研究はもう少し広い範囲であり、対象も企業とした情報通信技術の利用と人・組織の変化についての研究であります。一言で言うと情報通信技術とコミュニケーションの関係を調査分析しております。

社会や組織では、自分の考えを相手に伝える、相手の考えを理解するなどといった「知識の共有」のために様々なコミュニケーションが必要です。

コミュニケーションの方法には様々なものがあります。対面や電

話やさらにはSNSなどの情報通信技術を用いたものなどです。それぞれのコミュニケーション方法には長所・短所があり、相手や場所、内容などにより多くの場合使い分けております。

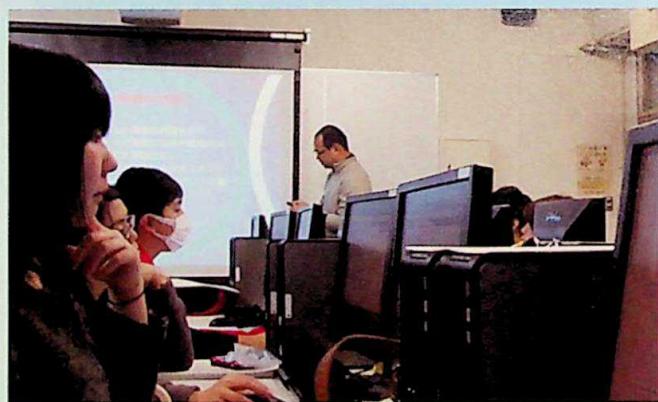
では、コミュニケーションにおいて情報通信技術はどのような効果を上げているかを考えてみると、コストの削減やスピードの向上などの他に、情報の形式知化と情報の可視化(見える化)がメリットとしてあげられます。形式知とは文字や数値で表せる知識のことであり、逆に経験や勘など文字などでは表しにくいものに暗黙知があります。このように、情報通信技術でのコミュニケーションは相手に自分の状況や状態などを伝えやすいことや理解しやすいことが特徴です。

SNSを利用していると友達のお昼ごはんや趣味などを窺い知ることもできます。このような新たな情報通信技術によるコミュニケーションについて様々なアプローチで調査研究を行なっております。

しかし、いくら情報通信技術が便利であるとしても、コミュニケーションの基本として対面での会話は重要なことです。研究室では、実際に同じ空間・時間を共有することを重視した上で情報通信技術を実際に利活用し「誰かをHappyにする」ということを念頭に、コミュニケーションと情報通信技術の関係について研究を進めています。



ゼミ風景（対面でのコミュニケーション）



ゼミ風景（情報通信技術を用いたコミュニケーション）



羽石 寛志

経済学部経済情報講座
准教授



第3回「日本学術振興会 育志賞」を受賞!

このたび、第3回(平成24年度)日本学術振興会 育志賞といふ、身に余る光栄な賞を受賞させていただきました。



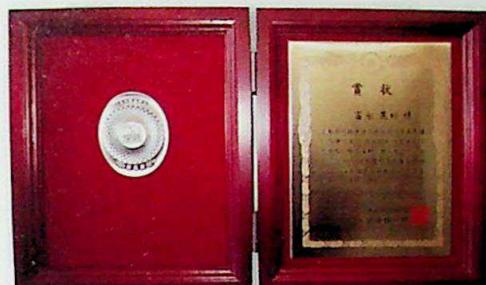
賞状授与の様子

育志賞は、天皇陛下の御即位20年に当たり、若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、陛下から御下賜金を賜り創設された賞です。今回は全国の大学長または学会長推薦者の中から、大学院博士課程に在籍する16名が選ばれました。授賞式は、秋篠宮同妃両殿下がご臨席の上、平成25年3月4日に東京の日本学士院で行われました。

私の所属は、鹿児島大学大学院連合農学研究科になります。これは佐賀大学、鹿児島大学、琉球大学の大学院農学研究科の教員組織、研究設備及び施設を連合した、研究者を養成するための教育研究体制で、後期3年間の大学院博士課程です。

私は、研究はすべて佐賀大学で行っています。「マメ科植物と根粒菌による共生窒素固定能強化の分子基盤解明及び作物への応用」というテーマで研究を行っており、今回この研究成果が認められ、受賞に至りました。ダイズ等のマメ科植物は根粒菌と共生し、根にできた根粒というこぶのような器官から、窒素という栄養を供給(窒素固定)されています。本研究では、この窒素固定能力を高めるための植物の遺伝子を探査し、マメ科植物の収量増加に有用な遺伝子を見出しました。

賞状・賞牌・奨励金の授与式の後

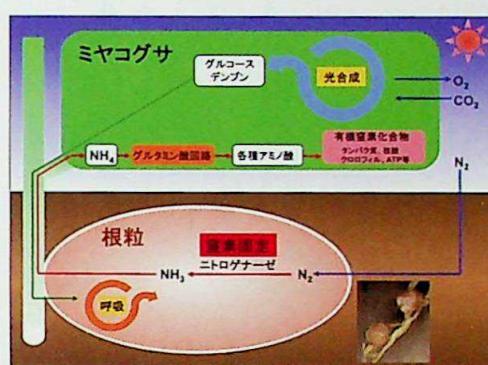


授与された盾



とみ なが あき よしこ
富永 見好

佐賀大学大学院農学研究科鈴木研究室
鹿児島大学大学院連合農学研究科3年



共生の概念図

には記念茶会が催され、そこで受賞者は両殿下とそれぞれ2、3分程お話をさせていただく機会がありました。秋篠宮殿下は、「共生」という概念に興味を持っていただけたようだ、マメ科植物以外にも共生はあるのか等、多くのご質問をしてくださいました。最後に「これからもご精進なさってください」と有り難い言葉をいただき、大変光栄でした。

式の後には、歴代の受賞者の方々も含めた懇親会を開いていただきました。人文系・理工系・生物系と、各分野の第一線で活躍している同年代の皆さんのお話は、分野は違えど共感できる事が多く、これ以上無い程の刺激を受ける事ができました。今後はより一層研究に励み、少しでも世の中に貢献できるよう精進いたします。

最後になりましたが、育志賞を受賞することができたのは、指導教員である佐賀大学農学部の鈴木章弘准教授をはじめ、研究室のみなさん、友人、そして両親のおかげに他なりません。この場を借りて改めて感謝いたします。本当にありがとうございました。



受賞者の集合写真

まちおこしグループ『さがのわ』

～市との協働事業をやっています！～



佐賀市提案公募型協働事業
「佐賀市ひかひか☆協働まちみがきプロジェクト」

佐賀市キッズ歴史フォーラム

平成25年佐賀市キッズ歴史フォーラム集合写真

突然ですが、皆さんには佐賀に世界遺産登録を目指している遺跡があることを知っていますか。佐賀市南部の諸富町と川副町にまたがる、幕末佐賀藩の近代海軍基地「三重津海軍所」は平成24年11月に国史跡指定を受け、世界遺産登録へ向けた準備が着々と進んでいます。

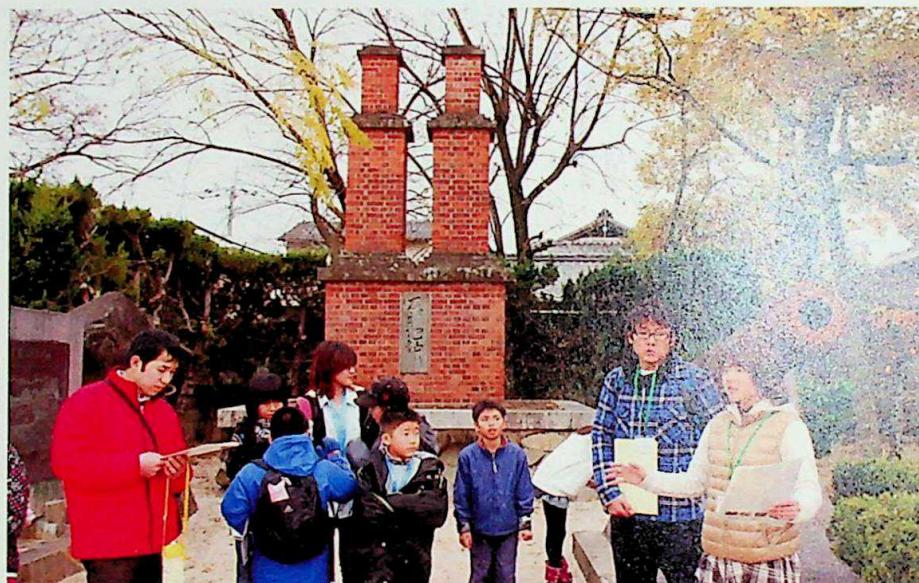


佐賀歴史探訪バスツアー（三重津）

国史跡といわれても、それがどういうことなのかピンとくる人は少ないかも知れません。国史跡とは、国がその遺跡を学術上・歴史上の価値が大変高く、保護していく必要があると認めた遺跡で、生き物で言い換えるならば天然記念物に指定されるくらいすごいことです。

この三重津海軍所に代表される、幕末佐賀の近代化遺産の知名度アップを後押ししようと発足したのが、私が代表を務める「さがのわ」です。

「さがのわ」は平成25年、佐賀市ひかひか☆協働まちみがきプロジェクトの協働事業相手として認定され、2月に「佐賀市キッズ歴史フォーラム」を開催しました。



佐賀歴史探訪バスツアー（反射炉）

フォーラムには市内10の小学生約100名が参加し、校区内の身近な歴史・行事・文化・地区の人たちとの取り組みなど、ユニークなものを取り上げて発表を行いました。

協働事業に決まってからの10ヶ月間は、企画・運営・広報活動、さらに、フォーラム参加校の小学生を対象とした「親子仲良く♪佐賀歴史探訪バスツアー」の実施と、新たな試みの連続でした。今まで行ってきたボランティア活動と違って、「さがのわ」が主催となり市や小学校を巻き込んでの活動だったので、責任とやりがいを強く感じました。

フォーラム後のアンケートでは、フォーラムを恒例行事として開催してほしいと多数回答を寄せられ、「わたしもおおきくなったらキッズ



そえ しま さ や か
副島沙也香

佐賀大学農学部
生物環境科学科4年



世界遺産フェスタ（凌風丸）



チャリさがいせい



チャリさがいせい 代表
山 口 達

農学部応用生物科学科2年

「第10回全国大学生環境活動コンテスト」 グランプリ(環境大臣賞)と 会場賞をW受賞

私たち「チャリさがいせい」は、平成24年12月26日～27日に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「第10回全国大学生環境活動コンテスト(ecocon)」において、最高賞である「グランプリ(環境大臣賞)」と、本大会に参加した学生の一人一人が投票してもっとも得票数の多かった団体が選ばれる「会場賞」をいただきました。

「全国大学生環境活動コンテスト」は、大学生の環境活動の活性化をテーマに平成15年から開催されてきたもので、今年で10回目となり毎年50～60の団体が参加しています。

佐賀大学のある佐賀県佐賀市は平坦な土地柄、数多くの学生が通学に自転車を利用しています。それで佐賀大学では、以前から大学生活で使っていた自

転車を卒業後、大学に放置していくという問題がありました。その現状を改善するため、平成21年に学生たちが「チャリさがいせい」を設立しました。「チャリさがいせい」は、①物質循環の促進、②交通手段としての自転車利用の促進、③省資源型社会の啓発活動の3つの理念のもと活動しています。

佐賀大学での放置自転車の数は、年間600台にも及んでいます。私たちは、この放置自転車を回収、防犯登録の解除手続きや修理、メンテナンスなどを行つて再生し、新入学生など希望者へ安価に販売しています。また、再生自転車を地域に生かすため、佐賀市で行われる「バルーンフェスティバル」や「佐賀城下ひなまつり」など各イベントでレンタサイクルを貸し出す活動も行つており、観光客や地域の方々に大変喜んでいただいています。また、活動の輪を広げるため

に平成23年9月には、長崎大学の「ちやりさいくる」とともに「肥前自転車再生同盟」を結成しました。その年に開催された「第9回全国大学生環境活動コンテスト」では、合同でグランプリ(環境大臣賞)を受賞しましたが、今回は「チャリさがいせい」単独の受賞であり、私たちの喜びもひとしおです。



佛淵孝夫学長へ受賞の報告



イベントでのレンタサイクルの様子



「第10回全国大学生環境活動コンテスト(ecocon)」表彰集合写真

第44回 日展

大学院修了生が特選、
在学生が初入選

第44回(平成24年度)日本美術展覧会の第3科彫刻の部において、本学大学院の修了生の白石恵里さんが特選に輝きました。また、大学院在学中の学生3名が初出展で初入選しました。

「弦響」



特選

しら いし え り
白石 恵里
大学院教育学研究科教科教育専攻
平成22年度修了

竖琴は他者に向けてというより、奏者自身の中に音の響きを感じて楽しむものだそうです。一弦の響が内から外へ波紋のように広がっていくイメージで制作しました。

「若者のすべて」



入選

まえ はら しん すけ
前原 慎介
大学院教育学研究科教科教育専攻
1年

今回、第44回日展において入選できたことをとても嬉しく思うとともに、ここで満足せずにまだまだ頑張らねばという思いが芽生えています。「若者のすべて」というこの作品は、若者の感情が移ろう様子を捉えようとした試みました。

「旅」



入選

にし むら こう いち ろう
西村 幸一郎
大学院教育学研究科教科教育専攻
1年

現代社会に生きる人間としての葛藤を旅人の姿として表現しました。今回初めて着衣の表現としつかり向きあって制作したのですが、その難しさと面白さの発見が大きな収穫でした。今後も精進していきたいと思います。

「一本道」



入選

かわ はら え り か
川原 恵吏佳
大学院教育学研究科教科教育専攻
2年

この度第44回日展に入選できたこと心から嬉しく思います。この作品は、タイトルの「一本道」から分かる通り、自分の目指す道に向かってひたむきに、懸命に進んでいこうとする女性を表現しました。

佐賀大学美術館 着工!

平成25年10月開館に向けて

平成25年2月14日、佐賀大学内の美術館建設予定地にて起工式を実施しました。工事関係者など約40人が出席し、工事の安全を祈願しました。

佐賀大学は、平成25年10月に「旧佐賀大学」と「佐賀医科大学」との統合10周年を迎えるにあたり、教育・研究に有意義に活用するとともに、地域・社会貢献の一環として美術館を設置し、併せて、佐賀県の都市計画に沿った正門を整備することとしました。

美術館の完成時には、天井高5メートルの明るく開放的な建物が来館されるみなさまを迎えてくれることででしょう。このガラス張りの建築デザインは、佐賀大学美術館が目指す「開かれた美術館」「大学と地域を結ぶ美術館」を象徴しています。みなさまが楽しめる、地域と大学を結ぶ美術館として、佐賀大学美術館はあと数か月で産声を上げようとしています。ご期待ください。



起工式の様子



美術館に併設されるカフェの候補事業者決定!

福岡市中央区赤坂に店舗を持つデリ&バル「トレネ」が出店されることになりました。福岡市内にソネス、イコネという姉妹店を経営する福岡のカフェの草分け的存在です。気になるメニューですが、素材にこだわった生パスタのランチセットなどが中心となるようです。

佐賀大学美術館
THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM

SUAM



1階展示室のイメージ



ガレリアの活用イメージ



美術館WEBサイト・公式Facebookを開設!

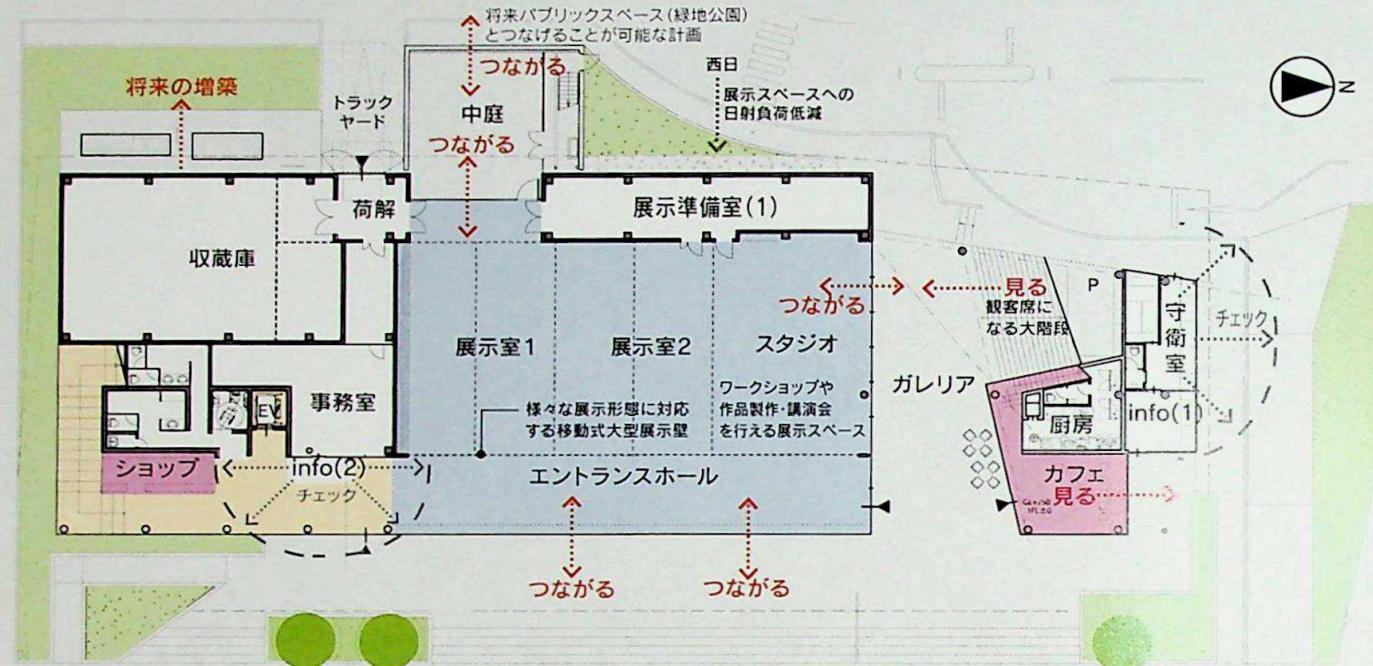
平成24年4月、美術館WEBサイトを開設し、併せてFacebookでも情報発信を行っています。WEBサイトでは美術館完成後のイメージムービーが公開中です。ぜひご覧ください。

佐賀大学美術館WEBサイト
<http://www.saga-u.ac.jp/museum/>

公式Facebook
<http://www.facebook.com/sagau.museum>

人々の活動が主役となる オープンミュージアム

佐賀大学や地域の人々の活動を垣間見られる、開放的で親しみやすい美術館



平面計画

●展示部門

1階各展示スペースは、移動大型展示壁により、様々な展示形態に対応でき、展示室1・2、スタジオ、ホールを一体的空間で使用することも可能です。また、半屋外空間との一体的な利用もできます。スタジオは、講演会やワークショップの開催など、多目的に活用することができます。2階では、大学が所蔵している歴史的に価値のある作品等を展示します。また、照明調整や、視聴覚設備を必要とする映像作品等を展示することができます。

●共用通路

幅が広く緩やかな階段の側壁と2階の歴史展示スペースには、旧制佐賀高校時代からの歴史に関する資料を展示予定です。

●カフェ・ショップ

カフェは、開放的で学外の人々も気軽に利用しやすく、地域との交流の場の一つとなります。ショップは、学生や教員の制作したアート作品、佐賀大学オリジナル商品や農学部が栽培した農作物の販売など、幅広い分野の成果や情報が発信される大学全体のPRの場となります。

カフェの2階部分からは、美術館を鑑賞した後の余韻に浸り背後の山並みなどの佐賀の原風景を眺めながらリラックスできます。

美術館設置事業への寄附を募集しています!!

佐賀大学では美術館の建設や運営のための募金をお願いしています。寄附いただいた皆様のご芳名を佐賀大学のウェブサイトや広報誌に掲載し、顕彰いたします。提出いただいた書類の個人情報は、本事業に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。

お振込先

○ゆうちょ銀行 口座記号番号:01770-1-141470
口座名義:国立大学法人佐賀大学 佐賀大学美術館基金

○ゆうちょ銀行以外の金融機関

■佐賀銀行 本店 普通預金 口座番号:3029177
■佐賀信用金庫 本店 普通預金 口座番号:1174456
■佐賀共栄銀行 本店 普通預金 口座番号:1200568

口座名義(共通):佐賀大学美術館基金 国立大学法人佐賀大学 学長 佛淵孝夫

資料請求・お問合せ先

○〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄1番地
国立大学法人佐賀大学美術館設置事業窓口
TEL(0952)28-8333
FAX(0952)28-8118
E-Mail : museum@mail.admin.saga-u.ac.jp

バスケットボール部(鍋島キャンパス)



部長
はま もと たく ろう
濱本 琢郎
医学部医学科3年



こんにちは、佐賀大学医学部バスケットボール部です。私たちは、男子12人、女子15人、マネージャー6人で、毎週月・水・土曜日に男女仲良く活動しています。

ですが、現在は男女ともに部員が少なく、全体的な練習ができない時もありますので、ぜひ新入生の方にバスケ部に入部してもらいたいです。

バスケットボールは大学から初心者で始めるには難しいスポーツで、敷居が高いと思われているかもしれません、自分も初心者から始めた内の一人ですし、優しい先輩たちが丁寧に基礎から教えてくれるので、試合で活躍できる実力が付きます。経験者の方も、「高校とは違ってやらされるバスケよりも自ら考えてするバスケットボールに新たな一面を見つけて楽しむことができる」とおっしゃっていました。

また、バスケットボール以外にもテーマパークに遊びに行ったり、海水浴・BBQをしたり、温泉旅行に行ったりと部活以外のイベントもあり、より親密な仲を築けます。

興味がある方はぜひ練習風景を見に来てください。



フォークソング研究会(本庄キャンパス)



部長
ひ だか ただ ひろ
日高 忠洋
理工学部機械システム工学科2年



私たちフォークソング研究会は平成24年に創立40周年を迎えた、歴史と伝統あるサークルです。創立当初はその通りフォークソングを中心としていましたが、今は邦楽・洋楽ロック等の軽音楽を中心としています。音楽好きな個性溢れる部員が集まり、日々練習に励んでいます。定期的にライブイベントを行うなど、精力的に活動し、毎年12月には1年間の集大成となる『動騒会』というタイトルの定期演奏会を開催しています。

活動は基本的に火曜、木曜日に行い、長期休暇中には合宿を行うなどし、部員同士の交流も深めています。部員の中には県内、また県外のライブハウスやイベントで活動している者もいます。大学に入学して初めて楽器に触れた部員も大勢いますので、初心者でも大歓迎です！少しでも興味を持っていただけの方は、お時間がありましたらぜひ一度私たちのライブイベントにお越しください！



佐賀大学は今季も J1サガン鳥栖を応援します!

昨季、J1初昇格で5位というすばらしい成績を挙げた「サガン鳥栖」!

佐賀大学は、今年も「サガン鳥栖」を応援するため、サガン鳥栖の本拠地である鳥栖市の「ベストアメニティスタジアム」にLEDアドボードを設置しました。

サガン鳥栖関連の主なかかわり

- 平成23年12月、「サガン鳥栖」の運営会社である株式会社「サガソーラームズ」と連携協定を締結。
- 医学部整形外科の医師がサガン鳥栖のチームドクターを務め、選手の健康管理を担当。
- 医学部救急医学講座がサガン鳥栖ホームゲームにおいて観客の医療サポートを支援。
- サガン鳥栖の選手と監督が医学部附属病院小児病棟を慰問。
- サガン鳥栖が、健康増進プログラム(総務省交付金)として獲得している「サガソーラームズ『ビカビカ☆サガントス』事業に本学教員が委員として参加。

そのほか、大学イベントへの選手の参加など



sagantosu official sponsor

私たちをサガントスを応援します



第6回 『大学は美味しいフェア!!』に出演

佐賀大学は、平成25年5月29日～6月4日、高島屋新宿店で開催される第6回『大学は美味しいフェア!!』へ今年も出展します。

第1回から出展している「バラフ」や、「バラフ」を原料とした美容液「バラフジュレ」、佐賀大学オリジナル清酒「悠久知醉」を出展するほか、今回は初めて出展となる商品も登場する予定です。

東京佐賀県人会の協力も得て、東京で佐賀大学をアピールしてまいります。

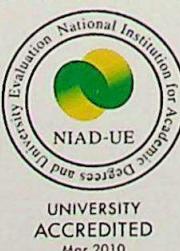


昨年開催された第5回「大学は美味しいフェア!!」の様子

佐賀大学メールマガジン登録受付中!!

毎号、受験生へ向けて、OB・在学生からの熱いメッセージ掲載。

登録は、→ <http://www.saga-u.ac.jp/mailma/>



UNIVERSITY
ACCREDITED
Mar. 2010

編集後記

本学の強みの一つにウェブを使った「ネット授業」があります。24時間いつでもどこでも授業が受けられ、単位が取れるeラーニングによる授業で、本学は授業数と種類の多さでこの分野のリーダー的存在です。このことは、これまで本誌でも何度か紹介しました。本号で特集として紹介するのは、「本学主催のコンテンツデザインコンテスト」で、ネット授業で培ったノウハウをアートの世界に生かしたもので、コンピューターを使ったデザインの講座も充実し、そこから優秀なデザイナーの卵が育ちつつあり、今後本学の魅力として育てていきたい分野です。第1回目にも関わらず、エントリー作品のレベルは高く、動画や3Dがほとんどです。残念ながら誌面ではその良さは紹介できませんので、ぜひURLにアクセスしてみてください。きっと楽しんでいただけると思います。

本号のトピックスとして、本学の学生ボランティア団体「チャリさがさいせい」が、全国大学生環境活動コンテストで、最高賞である環境大臣賞を受賞したことを取り上げています。日頃の地道な活動が、このような形で評価されるというのは本学にとっても誇らしいことです。学生が元気だと、大学全体も活性化します。広報室は、積極的に紹介することで支援して行きたいと思います。

(広報室長 早瀬 博範)

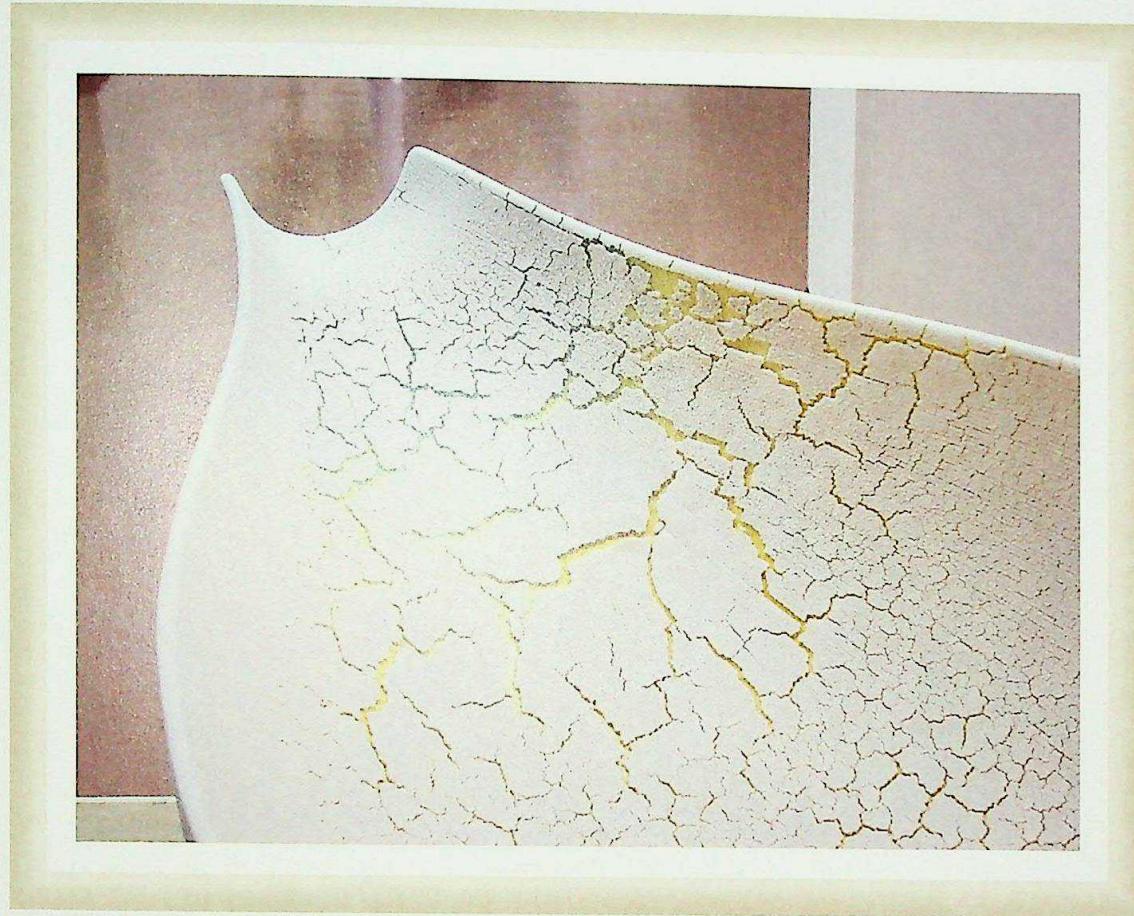
誌上ギャラリー

「氷解」

(第57回美術・工芸課程卒業制作展 出品作)

ソル ジュ フアン

薛 周煥(文化教育学部美術・工芸課程4年 窯芸専攻)

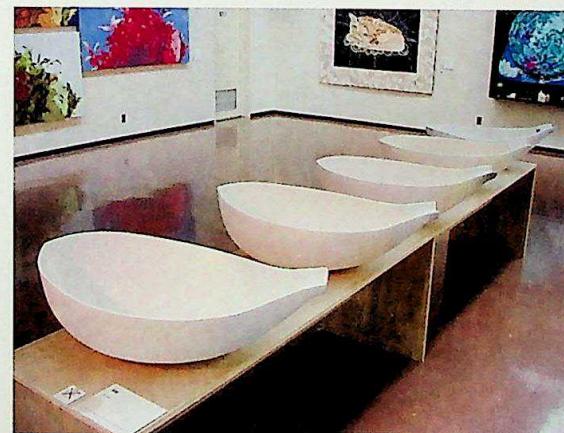


【作者プロフィール】

1982年 大韓民国釜山市生まれ
2011年 佐賀県立有田窯業大学校卒業
佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程編入学
2013年 佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程卒業
(2013年4月より本学大学院教育学研究科へ進学予定)

【作者コメント】

散った花びらでも、満開の花の美しさに増して、夢い白さに豊かな彩りを秘めている。



本学の情報を携帯電話で見ることができます。簡単アクセスはQRコードをご利用下さい。

携帯用 URL:<http://daigakujc.jp/saga-u/>

